

製品名: SLINGSHOT-1L マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81430**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	115.5kDa

抗原情報

遺伝子名	SLINGSHOT-1L
別名	SSH1;SSH1L
遺伝子 ID	54434.0
SwissProt ID	Q8WYL5
免疫原	大腸菌で発現したヒト SLINGSHOT-1L (AA: 1032-1044) の合成ペプチド断片。

背景

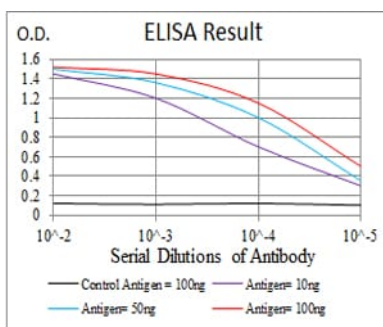
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アクチンフィラメントの動態を制御するホスファターゼのスリングショットホモログ (SSH) ファミリーに属します。SSH タンパク質はアクチン結合 / 脱重合因子であるコフィリンを脱リン酸化して活性化し、コ

フィリンはその後アクチンフィラメントに結合してその分解を促進します。コフィリンは LIM ドメインキナーゼ 1 (LIMK1) などのキナーゼによって不活性化されますが、LIMK1 もまた SSH タンパク質によって脱リン酸化および不活性化される可能性があります。したがって、SSH ファミリーはコフィリンタンパク質を再活性化することでアクチンの動態に役割を果たしていると考えられます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。

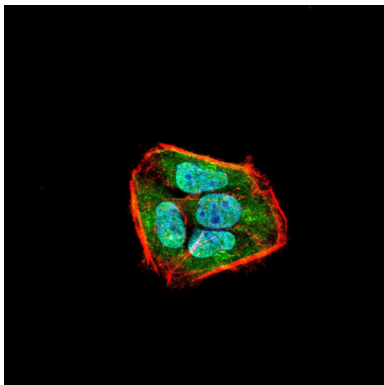
研究分野

-

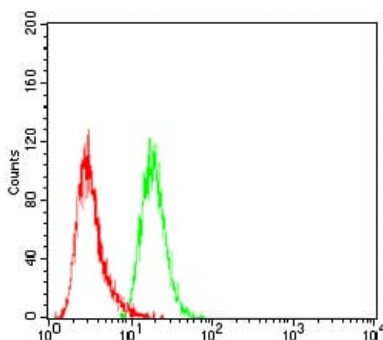
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



SLINGSHOT-1L マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



SLINGSHOT-1L マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。